

Ⅲ 成 人 保 健 事 業

[成人保健事業]

1. 概要

我が国の平均寿命は、生活環境の改善や医学の進歩により、世界有数の水準に達している。しかし、急速な高齢化とともに、がん、心臓病、高血圧症、糖尿病、COPD（慢性閉塞性肺疾患）等の生活習慣病の増加も深刻な問題になると予測される。

このような状況を踏まえ、壮年期死亡の減少や健康寿命の延伸、QOL（生活の質）の向上をめざし、健康増進、疾病予防等の一次予防に重点を置き、特にメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）対策や、がん対策の推進が重要である。

国は、国民の健康増進の総合的な推進を図るため、平成 25 年度から「21 世紀における第 2 次国民健康づくり運動（健康日本 21（第 2 次）」）を策定し、取り組みを進めているが、橿原市においても、平成 25 年度から「健康かしはら 21（第 2 次）計画」を策定、平成 29 年度にはその中間評価を行い、平成 30 年度から令和 4 年度までの「健康かしはら 21（第 2 次）後期計画」を策定し市民の主体的な健康づくり活動に向けて取組みを行ってきた。

令和 6 年 3 月に「健康かしはら 21（第 3 次）計画」を策定し、令和 6 年度から取組を行っている。

今後も、橿原市の死因順位が高い悪性新生物や早期からの生活習慣病予防として、がん対策、減塩対策に重点的に取り組むとともに、「健康かしはら 21（第 3 次）計画」から新たに追加した分野「働き世代の健康支援」にも重点的に取り組みを進める中で、令和 6 年度より市内企業への健康づくり支援として健康教室の実施や包括連携協定を結んでいる保険会社からの健康づくり啓発（がん検診受診啓発ちらしの配布等）を開始した。

また、引続き健康づくりに関する普及啓発を推進するため、市ホームページ等での啓発記事の配信（食推レシピ、運動情報）を継続して実施している。

2. 健康手帳の交付

目的	健康診査時の記録、その他健康保持のために必要な事項を記入し、自らの健康管理に役立てる。
対象	40歳以上
実施期間	通年
交付方法	事業等で交付しているほか、市ホームページからのダウンロードも可能であり、周知をすすめている。

交付状況（窓口交付数）

年度	R2	R3	R4	R5	R6
40歳以上74歳以下	15	17	35	15	22
75歳以上	8	6	11	1	5
計	23	23	46	16	27

3. 健康教育

目的	生活習慣病の予防や健康増進など健康に関する正しい知識を高め、壮年期からの健康の保持増進に役立てる。
対象	40歳～64歳
実施状況	令和4年度より、歯科保健分野の講座として「健康はお口の中からはじめよう」というタイトルでの出前講座を開始した。 「今日からはじめるウォーキング講座」では、健康運動指導士による講話（生活習慣病と運動について等）、運動普及推進員とのウォーキングを実施している。 健康かしはら21（第3次）計画における8つの取組分野では、1. 栄養・食生活、2. 運動・身体活動、3. 歯の健康 についての健康教育を実施している。

集団健康教育の実施状況

年度 種別	R2		R3		R4		R5		R6	
	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数
歯周疾患健康教育	0	0	0	0	2	27	3	41	1	6
ロコモティブシンドローム （運動器症候群）健康教育	2	19	4	52	7	51	7	44	7	46
（内）今日からはじめる ウォーキング講座	2	19	3	29	3	23	3	24	3	23
一般健康教育	6	127	11	153	15	163	13	112	15	164
計	8	146	15	205	24	241	23	197	23	216

4. 健康相談

(1) 健康相談

目的 心身の健康に関する個別の相談に応じ必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理に役立てる。

対象 40歳～64歳

実施期間 通年

実施状況 保健師・管理栄養士等のスタッフで、多角的な方面から相談を実施している。
生活習慣等個人の状況に応じた内容で随時対応の電話相談中心に個別指導を行っている。
令和6年度は、電話相談が全年齢で計65件。

種別 \ 年度	R2		R3		R4		R5		R6	
	開催回数	被指導延人数	開催回数	被指導延人数	開催回数	被指導延人数	開催回数	被指導延人数	開催回数	被指導延人数
重点健康相談（糖尿病）	2	2	0	0	1	1	0	0	0	0
総合健康相談	4	10	1	1	1	1	3	3	9	18
計	6	12	1	1	2	2	3	3	9	18

(2) 橿原市国民健康保険特定保健指導

令和6年度より第4期特定健康診査等実施計画が始まり、成果を重視した特定保健指導の評価体系（アウトカム評価）が導入された。

目的 内臓脂肪型肥満に着目し、生活習慣を改善する為に保健指導を行うことにより、健康的な生活の維持が出来るようになり、糖尿病等の生活習慣病を予防する。

対象 橿原市国民健康保険加入者で特定健康診査の結果、判定基準により対象となる者

実施期間 通年

実施状況 直営（健康増進課）と委託により保健指導を実施している。
法定報告上の特定保健指導対象者は489名、初回面談終了者47名、支援終了者28名であった（令和7年6月末時点）。

種別 \ 年度	R2	R3	R4	R5	R6
動機付け支援	37	59	34	41	44
積極的支援	12	13	4	12	※ 3

※うち、アウトカム評価（腹囲2cm・体重2kg減）での終了者は2名

利用勧奨実施状況

年度	R6
特定保健指導利用対象者	512
（内）75歳到達者等 ※	80
架電者	432
電話勧奨実施数	270
率（％）	62.5
手紙送付数（電話が繋がらなかった者）	162

※ 法定報告対象外となる年度内75歳到達者や、過去に利用勧奨の電話拒否者は除外

特定保健指導未利用理由として、自分で取り組む、拒否、服薬開始のため対象外が上位にあがった。

5. 健康診査

健康かしはら21（第3次）計画では、取組分野5. 健康チェックにて「年1回、健康チェックを受けよう」を目標とし、受診率の向上を位置づけている。

（1）生活習慣病健診

目的 生活習慣病予防に着目した健康診査を行い、糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備軍を減少させる。

対象 特定健康診査の対象とならない40歳以上の者
ただし、糖尿病等の生活習慣病で医療機関に受診している者等を除く

実施期間 5月1日から2月末日

実施状況 受診者は5人で、保健指導の対象となる者はいなかった。

年度	受診者数	結果					保健指導対象者数		利用 実人数
		異常なし	要観察	要指導	治療中※	要医療	動機付け 支援	積極的 支援	
R2	8	2	0	1	0	5	1	2	1
R3	9	2	0	3	0	4	2	3	0
R4	8	1	2	1	0	4	1	3	0
R5	8	0	2	2	2	2	1	2	0
R6	5	0	2	1	2	0	0	0	0

※ 高血圧・糖尿病・脂質異常症の3疾患以外で治療中の者

(2) 肝炎ウイルス検査

目的 肝がんの予防及び肝炎による健康障害を回避し、症状を軽減し、進行を遅延させる。

実施期間 5月1日から2月末日

対象 40歳以上の者で、過去に市の肝炎ウイルス検査受診歴のない者

実施状況

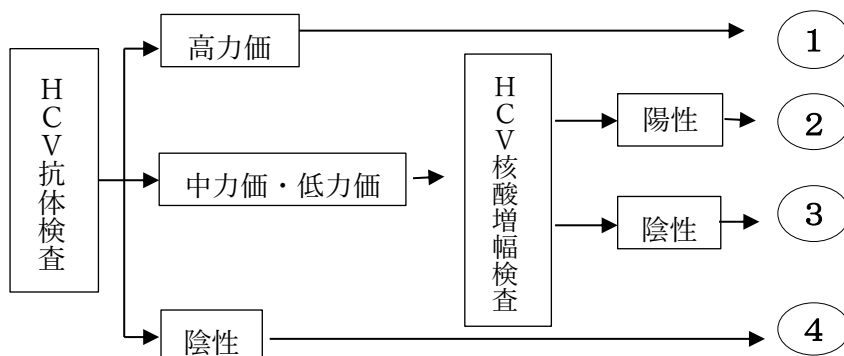
㊦ B型肝炎ウイルス検査

判定 年齢	判定						合計
	陰性		陽性		計		
	男	女	男	女	男	女	
40	17	20	0	0	17	20	37
41～44	15	18	0	0	15	18	33
45～49	17	19	0	0	17	19	36
50～54	37	23	0	0	37	23	60
55～59	27	29	0	0	27	29	56
60～64	41	43	0	0	41	43	84
65～69	79	62	0	0	79	62	141
70～	228	200	0	0	228	200	428
計	461	414	0	0	461	414	875
合計	875		0		875		875

㊦ C型肝炎ウイルス検査

判定 年齢	判定 ※1										合計
	現在感染している可能性が高い				現在感染している可能性が低い				計		
	①		②		③		④				
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
40	0	0	0	0	0	0	17	20	17	20	37
41～44	0	0	0	0	0	0	15	18	15	18	33
45～49	0	0	0	0	0	0	17	19	17	19	36
50～54	0	0	0	0	0	0	37	23	37	23	60
55～59	0	0	0	0	0	0	27	29	27	29	56
60～64	0	0	0	0	0	0	41	43	41	43	84
65～69	0	0	0	0	2	1	77	61	79	62	141
70～	0	0	0	1	2	1	226	198	228	200	428
計	0	0	0	1	4	2	457	411	461	414	875
合計	0		1		6		868		875		875

※1 C型肝炎ウイルス検査の判定結果について



①・②：現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が高い

③・④：現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が低い

(3) がん検診

目的 医療機関による個別検診を実施し、がんを早期発見し、適切な治療を行うことでがんによる死亡を減らす。

実施期間 5月1日から2月末日

実施状況 4月末に受診券（ハガキ）を全対象者に個別通知している。

《対象者について》

令和4年度以前の対象者は下記のとおり抽出していたが、令和5年度から対象者を全住民に見直した。

令和4年度以前の対象者の算出方法（総務省統計「国勢調査報告」参照 国勢調査は5年毎更新）

40歳以上の市町村人口 － 40歳以上の就業者数 ＋ 農林水産業従事者

1) 胃がん検診

対象 40歳以上の者（内視鏡検査は50歳以上の者）

実施状況

がんであった者は8人（X線：2人、内視鏡：6人）、うち早期がんは5人、進行がんは1人、深達度不明は2人であった。がん疑いは4人であった。

㊦検診受診状況

年度	対象者数	受診者数	受診率（％）※
R2	38,986	3,174	9.4
R3	38,986	3,284	9.8
R4	38,986	3,191	9.6
R5	75,484	3,002	4.9
R6	75,560	2,828	4.7

※ 受診率の算出方法

$$\frac{\text{前年度の内視鏡受診者数} + \text{当年度の内視鏡受診者数} + \text{当年度のX線受診者数}}{\text{対象者数}} \times 100$$

㊦検診結果状況（X線検査）

年度	受診者数	異常なし	軽度異常		要精検	読影不能	消化管外病変
			2 a ※1	2 b ※1			
R2	2,645	1,070	474	951	125	25	0
R3	2,726	1,133	493	938	111	51	0
R4	2,534	1,094	438	852	97	52	1
R5	2,263	918	420	788	83	53	1
R6	2,105	895	390	720	74	26	0

※1 軽度異常：2 a（精密検査不要）、2 b（要経過観察）

㊦検診結果状況（内視鏡検査）

年度	受診者数	精検不要 (右記以外の者)	要精検	
				(再掲) 判定困難
R2	529	434	95	21
R3	558	473	85	0
R4	657	556	101	0
R5	739	728	11	1
R6	723	621	102	0

㊦精密検査実施状況

年度	要精検者 ※2		精検受診者		結果 ※3					
	人数	率(%)	人数	率(%)	異常なし	胃がん(疑含む)	胃がん以外の悪性腫瘍	胃腺腫	悪性以外の疾患	胃以外の悪性病変
R2	220	6.9	169	76.8	37	6	2	0	118	1
R3	196	6.0	158	80.6	54	11	8	1	83	1
R4	198	6.2	177	89.4	68	9	3	0	92	5
R5	94	3.1	77	81.9	19	7	1	3	47	1
R6	176	6.2	162	92.0	59	12	2	3	83	3

※2 内視鏡検診の判定困難は要精検に含んでいる。

※3 1次検診がX線検査と内視鏡検査の選択式となっており、精検結果はその合計を表示している。

㊧年齢別受診状況

年度 年齢	対象者数	R2				R3				R4			
		男	女	計	率(%)	男	女	計	率(%)	男	女	計	率(%)
40～49	4,587	99	211	310	6.8	94	218	312	6.8	85	201	286	6.2
50～59	4,022	105	240	345	10.1	123	234	357	10.3	141	240	381	10.7
60～69	10,263	253	355	608	6.9	236	397	633	7.1	256	356	612	6.8
70～	20,114	1,016	895	1,911	11.2	1,036	946	1,982	11.7	1,026	886	1,912	11.6
計	38,986	1,473	1,701	3,174	9.4	1,489	1,795	3,284	9.8	1,508	1,683	3,191	9.6

年度 年齢	対象者数	R5				対象者数	R6			
		男	女	計	率(%)		男	女	計	率(%)
40～49	16,114	76	167	243	1.5	15,506	64	138	202	1.3
50～59	17,352	139	222	361	2.5	17,809	139	228	367	2.5
60～69	13,775	253	352	605	5.1	13,696	224	317	541	4.8
70～	28,243	923	870	1,793	8.1	28,549	904	814	1,718	7.9
計	75,484	1,391	1,611	3,002	4.9	75,560	1,331	1,497	2,828	4.7

2) 子宮頸がん検診

対象

20歳以上の女性（2年に1回）

実施状況

令和4年度より、症状出現後の受診でも早期発見が可能であるという国の指針により、子宮体がん検診を廃止した。
がんであった者はいなかった。

⑦検診受診状況

年度	対象者数	受診者数	受診率（％） ※2	一次検診結果※1												
				異常なし	頸部 ※3										体部	
					ベセスダ分類										疑陽性	陽性
					ASC-US	ASC-H	L-SIL	H-SIL	SCC	AGC	AIS	Adenoca	Other	判定不能		
R2	30,388	2,784	19.2	2,731	26	4	6	6	1	2	0	0	0	2	1	1
R3	30,388	2,512	17.4	2,462	19	6	11	4	1	2	0	2	0	0	0	1
R4	30,388	3,010	18.2	2,965	10	8	9	8	3	2	0	0	1	4		
R5	53,223	2,806	10.9	2,759	25	2	7	3	2	1	0	1	0	6		
R6	53,075	2,890	10.7	2,860	19	0	8	0	0	1	0	0	0	2		

※1 体部が疑陽性・陽性のものは、体部の結果を優先し記載している

※2 受診率の算出方法

$$\frac{\text{前年度受診者数} + \text{当年度受診者数} - \text{2年連続受診者数}}{\text{対象者数}} \times 100$$

※3 子宮頸部の判定分類について

ベセスダ分類は国際的基準となっており、クラス分類だけでなく細胞がどのような状態なのかを推定病変の分類法でより分かりやすく報告することができるものである。

ベセスダ分類	ASC-US		ASC-H		L-SIL	H-SIL			SCC	AGC	AIS	Adenoca	Other
日母分類	II	IIIa	IIIa	IIIb	IIIa	IIIa	IIIb	IV	V	III	IV	V	V

⑧無料クーポン券利用状況（対象者：年度内21歳になる者）

年度	R2	R3	R4	R5	R6
対象者(人)	619	594	554	629	601
利用者(人)	43	31	28	29	39
利用率(%)	6.9	5.2	5.1	4.6	6.5

㊦精密検査実施状況

㊦－１．子宮頸部

年度	要精検者		精検受診者		結果								
	人数	率 (%)	人数	率 (%)	異常なし	がん	又はがん疑い ※ ₁ は未確定	CIN3 または AIS	CIN2	CIN1	腺異形成	がん・異形成 以外の疾患	その他
R2	45	1.6	39	86.7	8	0	14	3	5	6	1	0	2
R3	45	1.8	40	88.9	10	※ ₂ 3	13	5	3	6	0	0	0
R4	45	1.5	31	68.9	3	※ ₂ 2	6	4	5	7	0	0	4
R5	41	1.5	35	85.4	5	3	5	2	6	12	0	0	1
R6	27	9.3	23	85.2	4	0	0	0	2	13	0	0	4

※₁ コルポ診未実施の者、またはコルポ・組織診にて異常を認めないが精密検査としてHPV検査や細胞診にて異常が検出された者を含む)

※₂ 子宮体がん1人含む

㊦－２．子宮体部

年度	要精検者		精検受診者		結果				
	人数	率 (%)	人数	率 (%)	異常なし	がん	がん疑い	がん以外の疾患	その他
R2	2	0.2	2	100.0	0	2	0	0	0
R3	1	0.1	1	100.0	0	1	0	0	0

㊦年齢別受診状況

年度 年齢	対象者数	R2			R3			R4	
		頸部	体部 (再掲)	受診率 (%)	頸部	体部 (再掲)	受診率 (%)	頸部	受診率 (%)
20～29	2,503	269	11	20.5	171	9	17.6	305	18.9
30～39	3,032	565	84	37.3	353	46	30.3	617	32.0
40～49	3,277	689	303	44.2	650	293	39.7	701	41.2
50～59	2,981	522	242	37.6	565	289	37.9	554	37.5
60～69	6,571	352	99	12.0	378	117	11.5	417	12.1
70～	12,024	387	93	6.8	395	100	6.6	416	6.7
計	30,388	2,784	832	19.2	2,512	854	17.4	3,010	18.2

年度 年齢	対象者数	R5		対象者数	R6	
		頸部	受診率 (%)		頸部	受診率 (%)
20～29	6,122	267	9.3	6,034	287	9.1
30～39	6,281	486	17.6	6,180	532	16.5
40～49	8,286	625	16.0	7,943	594	15.3
50～59	8,966	590	12.8	9,176	632	13.3
60～69	7,376	396	11.0	7,317	438	11.4
70～	16,192	442	5.3	16,425	407	5.2
計	53,223	2,806	10.9	53,075	2,890	10.7

3) 乳がん検診

対象 40歳以上の女性（2年に1回）

実施状況 令和4年度より、国の指針にもとづき、50歳以上を1方向とした。
がんであった者は13人、がん疑いは5人であった。

㊦検診受診状況

年度	対象者数	受診者数	受診率 (%)※1	結果	
				要精検	精検不要
R2	24,853	1,800	17.3	109	1,691
R3	24,853	2,181	15.9	133	2,048
R4	24,853	2,074	17.1	174	1,900
R5	40,820	2,160	10.3	169	1,991
R6	40,861	1,954	10.0	149	1,805

※1 受診率の算出方法

$$\frac{\text{前年度受診者数} + \text{当年度受診者数} - \text{2年連続受診者数}}{\text{対象者数}} \times 100$$

㊧無料クーポン券利用状況（対象者：年度内41歳になる者）

年度	R2	R3	R4	R5	R6
対象者(人)	767	748	686	701	658
利用者(人)	103	162	134	129	104
利用率(%)	13.4	21.7	19.5	18.4	15.8

㊨精密検査実施状況

年度	要精検者		精検受診者		結果				
	人数	率(%)	人数	率(%)	異常なし	がん	がん疑い	乳腺症	その他
R2	109	6.1	103	94.5	33	5	4	28	33
R3	133	6.1	130	97.7	57	7	10	32	24
R4	174	8.4	151	86.8	56	9	10	39	37
R5	169	7.8	154	91.1	83	1	10	21	39
R6	149	7.6	121	81.2	41	13	5	27	35

㊩年齢別受診状況

年度 年齢	対象 者数	R2		R3		R4	
		人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)
40～49	3,277	558	36.4	548	33.0	596	34.4
50～59	2,981	403	32.2	491	30.0	476	32.4
60～69	6,571	355	13.8	465	12.5	443	13.8
70～	12,024	484	10.4	677	9.7	559	10.3
計	24,853	1,800	17.3	2,181	15.9	2,074	17.1

年度 年齢	対象 者数	R5		対象 者数	R6	
		人数	(%)		人数	(%)
40～49	8,286	515	13.0	7,943	486	12.4
50～59	8,966	465	10.5	9,176	481	10.3
60～69	7,376	493	12.7	7,317	427	12.6
70～	16,192	687	7.7	16,425	560	7.6
計	40,820	2,160	10.3	40,861	1,954	10.0

4) 肺がん検診

対象 40歳以上の者

実施状況

「肺がん疑いで要精検」238人の内、がんであった者は4人、がん疑いは10人であった。また、「肺がん以外の疾患で要精検」180人の内、がんの発見は1人、がん疑いは3人であった。

⑦検診受診状況

年度	対象者数	受診者数	受診率 (%)	結果			
				異常なし	要経観	要精検	
						肺がん以外	肺がん疑い
R2	38,986	8,397	21.5	5,432	2,623	150	192
R3	38,986	8,580	22.0	5,694	2,591	125	170
R4	38,986	8,362	21.4	5,461	2,544	168	189
R5	75,484	8,591	11.4	5,572	2,658	141	219
R6	75,560	8,695	11.5	5,573	2,704	180	238

※1 R6年度A判定（読影不能）1人あり

⑧精密検査実施状況（肺がん疑い）

年度	要精検者		精検受診者		結果			
	人数	率(%)	人数	率(%)	異常なし	がん	がん疑い	その他
R2	192	2.3	170	88.5	59	6	15	※2 90
R3	170	2.0	149	87.6	54	3	9	83
R4	189	2.3	165	87.3	56	2	12	95
R5	219	2.6	196	89.5	79	5	20	67
R6	238	2.7	211	88.7	81	4	10	116

※2 うち3人は肺がん（他臓器からの転移）

⑨年齢別受診状況

年度 年齢	対象 者数	R2				R3				R4			
		男	女	計	率(%)	男	女	計	率(%)	男	女	計	率(%)
40～49	4,587	181	325	506	11.0	182	348	530	11.6	156	346	502	10.9
50～59	4,022	219	443	662	16.5	229	428	657	16.3	261	463	724	18.0
60～69	10,263	599	1,008	1,607	15.7	568	1,041	1,609	15.7	570	978	1,548	15.1
70～	20,114	2,469	3,153	5,622	28.0	2,520	3,264	5,784	28.8	2,511	3,077	5,588	27.8
計	38,986	3,468	4,929	8,397	21.5	3,499	5,081	8,580	22.0	3,498	4,864	8,362	21.4

年度 年齢	対象 者数	R5				対象 者数	R6			
		男	女	計	率(%)		男	女	計	率(%)
40～49	16,114	148	327	475	2.9	15,506	136	285	421	2.7
50～59	17,352	261	466	727	4.2	17,809	280	446	726	4.1
60～69	13,775	564	934	1,498	10.9	13,696	554	931	1,485	10.8
70～	28,243	2,521	3,370	5,891	20.9	28,549	2,626	3,437	6,063	21.2
計	75,484	3,494	5,097	8,591	11.4	75,560	3,596	5,099	8,695	11.5

5) 大腸がん検診

対象 40歳以上の者

実施状況 がんであった者は13人（早期がん6人、進行がん6人、進展度不明がん1人）、
がん疑いは5人であった。

㊦検診実施状況

年度	対象者数	受診者数	受診率(%)	結果		
				異常なし	判定Ⅱ	要精検(判定Ⅲ)
R2	38,986	7,994	20.5	7,151	159	684
R3	38,986	8,203	21.0	7,490	138	575
R4	38,986	7,989	20.5	7,203	137	649
R5	75,484	7,865	10.4	7,264	113	601
R6	75,560	7,885	10.4	7,158	115	612

㊧精密検査実施状況

年度	要精検者		精検受診者		結果(延人数)					
	人数	率(%)	人数	率(%)	異常なし	がん	がん疑い	ポリープ [※]	大腸憩室	その他
R2	684	8.6	508	74.3	137	12	7	283	82	29
R3	575	7.0	436	75.8	112	31	3	246	53	47
R4	649	8.1	416	64.1	93	22	1	219	59	45
R5	601	7.6	432	71.9	91	21	7	260	46	79
R6	612	7.8	453	74.0	101	13	5	237	55	96

㊨年齢別受診状況

年度 年齢	対象者数	R2				R3				R4			
		男	女	計	率(%)	男	女	計	率(%)	男	女	計	率(%)
40～49	4,587	191	356	547	11.9	183	392	575	12.5	153	366	519	11.3
50～59	4,022	245	516	761	18.9	239	488	727	18.1	271	481	752	18.7
60～69	10,263	572	1,033	1,605	15.6	561	1,093	1,654	16.1	539	1,019	1,558	15.2
70～	20,114	2,241	2,840	5,081	25.3	2,313	2,934	5,247	26.1	2,314	2,846	5,160	25.7
計	38,986	3,249	4,745	7,994	20.5	3,296	4,907	8,203	21.0	3,277	4,712	7,989	20.5

年度 年齢	対象者数	R5				対象者数	R6			
		男	女	計	率(%)		男	女	計	率(%)
40～49	16,114	153	341	494	3.1	15,506	134	299	433	2.8
50～59	17,352	253	493	746	4.3	17,809	273	465	738	4.1
60～69	13,775	543	969	1,512	11.0	13,696	510	972	1,482	10.8
70～	28,243	2,214	2,899	5,113	18.1	28,549	2,294	2,938	5,232	18.3
計	75,484	3,163	4,702	7,865	10.4	75,560	3,211	4,674	7,885	10.4

(4) 歯周病検診

目的	歯周病は、成人期において未だに有病者率が高く、基礎疾患や生活習慣との関係が注目されていること等から歯周病検診を実施することにより、丈夫な歯は健康の源であることを認識し、虫歯・歯周病等の早期発見をするとともに“歯の健康”をチェックし、自己の生活習慣を見直すきっかけづくりとしている。
対象	年度内に20・30・40・50・60・70歳になる者 ※ 令和6年度以降、歯周病の患者が若年層でも増えていることを受け、厚生労働省は歯周疾患検診の対象に20歳・30歳を追加
実施期間	【20・30歳】 12月1日から2月末日 【40・50・60・70歳】 5月1日から2月末日
実施状況	【20・30歳】 希望者にのみ、受診券（ハガキ）を送付。 【40・50・60・70歳】 4月末に受診券（ハガキ）を全対象者に個人通知し、秋頃に未受診者全員に勧奨ハガキを送付している。

⑦検診実施状況

年度	対象者数 ※1	受診者数	受診率 (%)	結果		
				異常なし	要指導	要精検者
R2※2	中止	—	—	—	—	—
R3	12,937	1,119	8.6	63	252	804
R4	6,370	557	8.7	22	134	401
R5	6,249	522	8.4	23	119	380
R6	8,435	465	5.5	25	97	343

※1 対象者数：各年4月1日現在市年齢別人口表より

※2 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため検診を中止。

令和2年度対象者は、令和3年度に実施した。

⑧年齢別結果（令和6年度）

年齢	対象者数	受診者数			異常なし			要指導			要精検		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
20歳	1,090	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30歳	1,186	0	3	3	0	0	0	0	1	1	0	2	2
40歳	1,255	40	54	94	0	5	5	7	15	22	33	34	67
50歳	1,852	30	81	111	1	6	7	6	24	30	23	51	74
60歳	1,652	32	80	112	0	3	3	4	16	20	28	61	89
70歳	1,400	56	89	145	1	9	10	9	15	24	46	65	111
計	8,435	158	307	465	2	23	25	26	71	97	130	213	343

(5) 前立腺がん検診

目的 前立腺がんの早期発見、早期治療及び正しい知識の普及を図るため。

実施期間 5月1日から2月末日

対象 50歳以上の男性

実施状況

PSAが4以上の要精検者は231人中207人おり、そのうち121人が精密検査（治療中も含む）を受診している（PSA4以上の精検受診率58.5%）。

特定健康診査と同時に実施する方法と、単独で実施する方法で実施している。

⑦検診実施状況

年度	対象者数	受診者数	受診率 (%) ※1	結果		
				異常なし	経過観察	精密検査
R2	12,823	2,664	20.8	2,478	0	186
R3	12,823	2,747	21.4	2,540	0	207
R4	12,823	2,859	22.3	2,632	0	227
R5	26,836	2,760	10.3	2,567	0	193
R6	27,136	2,857	10.5	2,626	0	231

※1 R2年～R4年の受診率は、市独自の推計値により算出

①精密検査実施状況

年度	要精検者		精検受診者		結果（延人数）				
	人数	率(%)	人数	率(%)	前立腺がん			前立腺 肥大症	前立腺炎
					異常なし	疑い	要治療		
R2	186	7.0	102	54.8	10	38	18	74	3
R3	207	7.5	135	65.2	10	48	24	100	2
R4	227	7.9	141	62.1	18	52	20	99	4
R5	193	7.0	113	58.5	20	33	23	69	2
R6	231	8.0	121	52.4	11	58	15	90	4

⑦年齢別受診状況

年度	R2	R3	R4	R5	R6
50～59	259	282	334	325	364
60～69	594	579	613	593	576
70～	1,811	1,886	1,912	1,842	1,917
計	2,664	2,747	2,859	2,760	2,857

(6) 結核検診

目的 結核を早期発見し、早期治療に繋げる。

実施期間 5月1日から2月末日

対象 40歳以上の者

実施状況 結核の発見はなかった。

⑦検診実施状況

年度	受診者数	結 果							
		異常なし	要再検	（陳旧性肺結核・Ⅳ型・Ⅴ型）	その他の所見	（心肥大治療不要）	（心肥大要医療）	要医療	要精検
R2	8,397	7,999	0	8	317	58	0	0	15
R3	8,580	8,236	0	10	287	42	0	0	5
R4	8,362	8,052	0	14	245	46	2	0	3
R5	8,591	8,258	4	9	268	52	0	0	4
R6	8,695	8,343	0	10	272	60	1	0	9

⑧精密検査実施状況

年度	要精検者		精検受診者		結 果						
	人数	率（％）	人数	率（％）	異常なし	結核	治癒型	安定非空洞型	陳旧性肺結核	手術跡	他の疾患
R2	15	0.18	10	80.0	2	0	0	0	0	0	8
R3	5	0.06	1	20.0	0	1	0	0	0	0	0
R4	3	0.04	2	66.7	2	0	0	0	0	0	0
R5	4	0.05	4	100.0	3	0	0	0	0	0	1
R6	9	0.10	7	77.8	0	0	0	0	0	0	7

⑨年齢別検診状況

年度	年齢	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	計
R2		506	662	1,607	5,622	8,397
R3		530	657	1,609	5,784	8,580
R4		502	724	1,548	5,588	8,362
R5		475	727	1,498	5,891	8,591
R6		421	726	1,485	6,063	8,695

6. 訪問指導

目的	療養上、生活習慣病予防のための保健指導が必要と認められる者及びその家族に対して保健師等が訪問し、その健康に関する課題を総合的に把握し、必要な指導を行い、心身の機能低下防止と健康の保持増進を図る。
実施期間	通年
対象	心身の状況、置かれている環境等に照らして療養上、生活習慣病予防のための保健指導が必要であると認められる40歳～64歳の者
実施状況	

年度	R2	R3	R4	R5	R6
実人数	0	※1 1	0	0	1
延人数	0	2	0	0	1

※1 訪問者の年齢は39歳

7. 健康増進事業

(1) 啓発事業

1) タバコ

健康かしはら21（第3次）計画においては、取組分野4. タバコにて「タバコを吸わない人を増やそう」を目標とし、喫煙者ができるだけ早い段階で禁煙に取り組むことができるよう、正しい知識の普及と禁煙に関する情報提供に努める、としている。

ア ポピュレーションアプローチ

目的 喫煙者を減らし、COPDを知っている人を増やし、受動喫煙の機会を減らす。

対象 檀原市民（特に青・壮年期）

実施期間 通年

実施内容 禁煙ポスター、受動喫煙ポスターの掲示
禁煙リーフレットの設置

イ 個別支援

目的 特定保健指導対象者で喫煙している者へ禁煙支援を行う。

対象 特定保健指導対象者のうち喫煙している者

実施期間 通年（令和4年度より開始）

実施内容 喫煙に関するリーフレット及びアンケートを送付

実施状況 ※R4年度は喫煙者全員、R5年度から65歳未満に配布

年度	配布（人）	アンケート回答数	回収率（%）
R4	57	10	17.5
R5	28	3	10.7
R6	55	2	3.6

2) 減塩

健康かしはら21（第3次）計画においては、「減塩に努める人を増やそう」を目標とし、市民ひとりひとりが自らの食生活に関心をもつと同時に「自然に健康になれる食環境づくり」に取り組む、としている。

ア ポピュレーションアプローチ

目的	橿原市は健診における血圧の有所見者の割合が壮年期で高い傾向にあり、高血圧と強い関連がある食塩摂取量を気にしている人の割合は32.6%となっている。特に60歳未満での意識が低い傾向にあり、働き盛りの世代を含め、高血圧を発症していない市民が減塩の知識を持ち、食事を選べる環境づくりに向け、市内小売施設との協働およびインターネットでの発信をすすめる。
対象	青壮年期（主な対象18歳～64歳）
実施期間	通年

実施状況

⑦市内各施設での減塩・野菜摂取啓発

年度	回数	アンケート 回答数
R2	2	—
R3	4	326
R4	5	278
R5	6	570
R6	6	565

⑧ヘルシーレシピ発信

年度	配布枚数 (紙)	ホームページ 公開レシピ数	ホームページ 閲覧数
R2	375	30	777
R3	1,648	38	1,280
R4	1,613	35	1,104
R5	1,526	15	1,173
R6	1,205	17	1,070

イ 個別支援

目的	生活改善意識が高まっている保健指導実施時に減塩の指導を強化することで、効率的な減塩指導を行い、高血圧の改善を推進する。
対象	特定保健指導利用者のうち、高血圧に該当するもので、塩分チェックシートでの減塩指導が有効と判断される者（当該年度特定健診結果が下記①②両方に当てはまる者） ①血圧：拡張期血圧140mmHg以上または収縮期血圧90mmHg以上 ②BMI：26未満
実施期間	通年（令和3年度より開始）

実施状況

年度	配布数（人）	改善した人の割合（%）
R3	12	—
R4	9	—
R5	6	78
R6	6	0

3）歯の健康

健康かしはら21（第3次）計画においては、取組分野3. 歯の健康において、「健康な歯を保つ人を増やそう」を目標としており、歯の健康管理に関する意識の高揚を図る、としている。

目的	生活習慣病予備軍に対し、正しい口腔ケアの実践・定期的な歯科健診受診をうながすことにより、生活習慣病の悪化を防ぐため
対象	特定保健指導対象者で初回面談に来所した者のうち、定期的に歯科受診していなかったり、補助的清掃用具を使用していない者
実施期間	通年
実施内容	口腔ケアに関するチラシを配布する

実施状況

年度	配布（人）
R2	23
R3	61
R4	36
R5	41
R6	44

（２）働き世代への健康支援

健康かしはら21（第3次）計画においては、取組分野8.働き世代の健康支援において「働き世代の健康づくりを地域で支援しよう」を目標とし、働き世代が自らの健康づくりに取り組めるよう、啓発や環境づくり等の支援を行うとしている。

現在の健康状態はこれまでの自らの生活習慣や社会環境等に影響を受けている可能性や次世代の健康にも影響を及ぼす可能性がある。就労世代や育児を行う者は健康づくりに費やす時間が十分でないが、働き世代が自らの健康づくりを意識し、自然と取り組めるよう啓発を行い、環境づくりを支援していくことが、ライフコースアプローチの概念から大切と考え、働き世代の健康支援をすすめる。

実施期間 通年
対象 働き世代（主な対象18歳～64歳）

実施状況

⑦市内企業への健康づくり支援

	日時	参加者	内容
A社	1月27日	32名	減塩を中心とした健康づくりに関する健康教育
B社	2月22日	7名	生活習慣病予防を中心とした健康づくりに関する健康教育

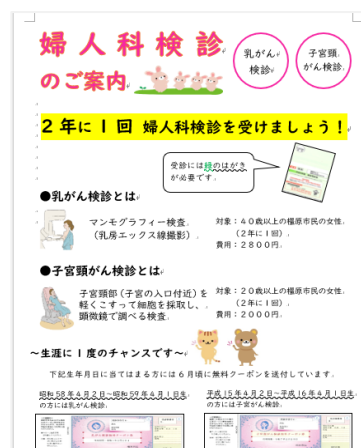
④SNS等を活用した啓発

がん検診や歯周病検診の受診勧奨に関する動画配信を行った。
LINEやXにてイベントの周知や検診受診勧奨、啓発を行った。



⑦包括連携協定を結んでいる保険会社からの啓発

がん検診PRチラシ、婦人科検診チラシ、子宮頸がん予防チラシ
歯周病検診（20・30歳）チラシ等を営業活動中に配布



(3) 地区組織活動

健康かしはら21（第3次）計画においては、取組分野7. 健康のための社会環境づくりにおいて、「地域ぐるみで健康づくりを支えよう」を目標とし、社会全体で市民一人ひとりの健康を支援する環境づくりを進める、としている。

目的 市民一人ひとりに「自分の健康は自分で守る」という自覚と認識を広めるとともに、正しい食生活や運動習慣・がん予防の普及浸透をはかり、地区住民の健康保持増進を積極的に推進する。

対象 40歳～64歳

実施期間 通年

1) 食生活改善推進事業

健康かしはら21（第3次）計画においては、取組分野1. 栄養・食生活において、「適正体重を維持しよう」「減塩に努める人を増やそう」を目標とし、市民一人ひとりが自らの食生活に関心をもち、健康な食生活を実現することができるよう取組む、としている。

ア 地区組織活動助成事業

食生活改善推進員（ヘルスリーダー）の地域活動を通して、一人ひとりが「自分の健康は自分で守る」という自覚と認識を広めるとともに、正しい食生活の普及浸透をはかり、地区住民の健康で文化的な食生活の維持発展に寄与することを目的とする。

(ア) 食生活改善推進員の要件

- ・ 檀原市が行う食生活改善普及推進員養成講座の所定の課程を修了したもので、食生活改善普及推進活動に意欲を持ち、その旨登録したものとする。

(イ) 活動の体制

- ・ 推進員は地区別によるグループ活動をする。
- ・ 推進員の自主活動の効果的实施に留意し、意思決定・計画設定・問題解決・内部調整など、必要に応じて理事会を行う。
- ・ 情報伝達の迅速徹底のため、地区別に連絡網を整備している。
- ・ 推進員と行政機関などの連絡調整のため、必要に応じて連絡会議を行う。

(ウ) 活動の内容

- ・ 健康づくりに対する知識の普及
健康の保持増進に必要な栄養などに関する知識の普及（公募伝達講習、レシピ「おうちでヘルシークッキング」作成・周知）。
- ・ 市と共同で行う活動
各種健診の目的、方法の伝達や啓発、協力（食生活改善推進員養成講座、減塩啓発・媒体作成）。
- ・ 食生活改善推進員の研修や仲間同士で行う活動
研修会や打合せ会等による知識の習得、実践を通して仲間づくり（会員伝達講習）。
- ・ 地域での自主活動

⑦活動状況

年度		R2	R3	R4	R5	R6
普及 及伝達 活動	テーマ	◎野菜を食べましょう ◎良い食生活をしましょう ◎食生活を変えて、生活習慣病を予防しましょう				
	実施回数(回)	0	0	2	2	2
	教室時の調理実習 参加市民数(人)	0	0	10	7	5
	延参加会員数(人)	0	0	39	13	12
伝達 講習会	実施回数(回)	0	0	0	2	4
	参加市民数(人)	0	0	0	20	43
	参加会員数(人)	0	0	0	9	19
研会 修員	実施回数(回)	19	40	20	25	28
	延参加会員数(人)	213	245	127	235	254
活広 動報	広報かしはら 掲載回数(回)	4	4	4	4	4
活啓 動発	実施回数(回)	—	3	4	3	4
	参加会員数(人)	—	3	10	6	11

⑧推進員数の推移

(人)

年度	R2	R3	R4	R5	R6
会 員 数	62	49	34	33	30

イ 食生活改善推進員養成講座事業

目的 食を中心とした生活習慣病予防と健康づくりについて学習し、市民の中に
バランスのとれた食生活の習慣づくりを進める推進員の養成を行う。年間
実施状況 保健師・管理栄養士等のスタッフにより、毎年実施している。感染症拡大
防止のため令和2～3年度は中止していたが、令和4年度より再開した。
12回で9回以上の出席者に修了証書を授与している。

受講状況

(人)

年度	回数	延べ受講人数	1回当たり受講人数
R2	中止	—	—
R3	中止	—	—
R4	12	56	5
R5	12	54	5
R6	12	33	3

2) 運動普及推進事業

健康かしはら21（第3次）計画においては、取組分野2. 運動・身体活動において、「運動習慣がある人の割合の増加」を目標とし、運動のきっかけづくりと継続できるしくみづくりに取組む、としている。

ア 地区組織活動助成事業

運動普及推進員（ヘルスリーダー）の地域活動を通して、健康づくりのための運動を普及していくとともに、住民の日常生活の中へ運動習慣を取り入れられるよう実践活動を行い、地域住民の健康づくりを推進することを目的とする。

(ア) 運動普及推進員の要件

- ・ 橿原市が行う運動普及推進員養成講座の所定の課程を修了したもので、運動普及推進活動に意欲を持ち、その旨登録したものとする。

(イ) 活動の体制

- ・ 推進員は地区別によるグループ活動をする。
- ・ 推進員の自主活動の効果的实施に留意し、意思決定・計画設定・問題解決・内部調整など、必要に応じて理事会を行う。
- ・ 情報伝達の迅速徹底のため、地区別に連絡網を整備している。
- ・ 推進員と行政機関などの連絡調整のため、必要に応じて連絡会議を行う。

(ウ) 活動の内容

- ・ 健康づくりに対する知識の普及
地域において、運動を中心とした健康づくりに関する知識の普及及び伝達（らくらくウォーキング、わくわくエクササイズ、ハイキング、ウォーキングマップ作成・周知）。
- ・ 市と共同で行う活動
各種健診の目的、方法の伝達や啓発、協力（運動普及推進員養成講座、今日からはじめるウォーキング講座）。
- ・ 運動普及推進員の研修や仲間同士で行う活動
研修会や打合せ会等による知識の習得、実践を通して仲間づくり（学習会）。
- ・ 地域での自主活動

⑦活動状況

年度		R2	R3	R4	R5	R6
普及 及伝達 活動	実施回数(回)	11	11	21	19	18
	参加市民数(人)	31	30	37	24	25
	延参加会員数(人)	152	103	132	162	138
伝達 講習会	実施回数(回)	4	7	10	13	13
	参加市民数(人)	52	71	101	88	151
	参加会員数(人)	22	57	100	124	142
会員 研修	実施回数(回)	1	3	3	4	19
	延参加会員数(人)	19	34	25	50	141
運動 指導	実施回数(回)	2	9	14	25	19
	参加市民数(人)	2	36	212	520	469

※R6より役員会を会員研修に加えています。

⑧推進員数の推移

年度	R2	R3	R4	R5	R6
会 員 数	47	34	23	27	22

イ 運動普及推進員養成講座事業

運動を中心とした生活習慣予防と健康づくりについて学習し、市民に運動習慣づくりを勧める推進員の養成を行う。

年間12回で9回以上の出席者に修了証書を授与している。

(ア) 実施状況

保健師・管理栄養士等のスタッフにより、毎年実施している。感染症拡大防止のため令和2～3年度は中止していたが、令和4年度より再開した。

受講状況

(人)

年度	回数	延べ受講人数	1回当たり受講人数
R2	中止	—	—
R3	中止	—	—
R4	12	87	7
R5	12	66	6
R6	12	68	6

3) がん予防推進事業

健康かしはら21（第3次）計画では、取組分野5.健康チェック にて「年1回、健康チェックを受けよう」を目標とし、市民一人ひとりが自らの健康維持・増進に関心をもち、健康づくりに積極的に取り組むことができるよう、検診の必要性やメリットについての啓発を行う、としている。

ア がん予防推進員活動事業

目的 がん検診受診率の向上やがん予防に取り組む市民を増やす。

実施状況 がん予防推進員養成講座を修了し認定を受けた推進員が、がん検診の受診勧奨やがん予防に関する情報提供などのがん予防推進活動を実践している。

⑦活動状況

年度	活動内容	イベント参加者数	配布人数
R2	感染拡大防止のため活動中止	—	—
R3	ご友人や地域の方等へがん検診の受診勧奨チラシを配布	—	—
R4	ご友人や地域の方等へがん検診の受診勧奨チラシを配布	—	—
R5	ご友人や地域の方等へがん検診の受診勧奨チラシを配布	—	—
R6	がん検診の受診勧奨に関する啓発ポスター掲示 チラシ・冊子等の配布及び配置、啓発イベントの実施 (近鉄百貨店橿原店、市分庁舎屋内交流スペース)	21	395

④フォローアップ研修

年度	研修内容	参加者数
R2	自宅学習 ①「橿原市とがん予防推進員のがん検診受診状況比較」 ②今後の受診勧奨に向けてアンケート実施	—
R3	自宅学習 ①「病（医）院における感染対策とコロナ禍での安心・安全ながん検診 受診方法について」 ②昨年度のアンケートのフィードバック ③がん検診やがん治療についての体験談の募集	—
R4	オンラインセミナー 乳がん予防について（第一生命共催）	11※1
R5	①講話 「ウエルネスライフのすすめ 穏やかにくらすためのがん予防」 講師：天理大学看護学科 教授 山中政子 ②がん検診受診勧奨に向け、学習資料冊子配布、アンケート実施	8
R6	講座：テーマ「数字から見る橿原市のがんの現状」 グループワーク：今年度のフォローアップ研修内容および啓発活動の検討	9

※1 保健センターでの参加者数（オンライン参加環境が整わないため）

⑤推進員の推移

年度	R2	R3	R4	R5	R6
会員数	65	58	52	48	38